

経営発達支援計画

2022年度(令和4年度)四半期ごとの
地域内景況感調査報告書

第二回(7月～9月)調査

令和4年11月

笠置町商工会

目次

第1章 調査概要	p2
1.1 アンケート調査の目的	
1.2 アンケート調査の概要	
1.3 アンケート調査の項目	
第2章 調査集計結果	p3～p6
2.1 コロナ前及び昨年と比べた「売上(雑収入を除く)」について	
2.2 コロナ前及び昨年と比べた「営業利益(雑収入を除く)」について	
2.3 コロナ前及び昨年と比べた「経常利益(雑収入を含む)」について	
2.4 個々の経営課題について	
第3章 調査結果のまとめ	p7
3.1 調査結果のまとめ	
第4章 資料	p8～p9
4.1 アンケート調査票	

第1章 調査概要

1.1 アンケート調査の目的

このアンケート調査は、笠置町商工会が取り組む令和4年度の経営発達支援計画において、地域内の小規模事業者等の経営状況(売上、営業利益、経常利益)が、どのように変化したかの景況感の実態を四半期ごとに把握するためのものであり、地域の経済動向を調査することを目的として実施するものである。

1.2 アンケート調査の概要

- ・ 調査対象 笠置町商工会全会員 76 者
- ・ 調査方法 郵送・持参による調査依頼、Web 及び FAX・訪問等による調査回収
- ・ 調査対象期間 令和4年7月～9月
- ・ 回収標本数 22 件 (回収率 28.9%)

1.3 アンケート調査の項目

- ・ コロナ前及び昨年と比べた「売上(雑収入を除く)」について
- ・ コロナ前及び昨年と比べた「営業利益(雑収入を除く)」について
- ・ コロナ前及び昨年と比べた「経常利益(雑収入を含む)」について
コロナ前は、令和1年(2019年)7月～9月までの3ヶ月間とし、
昨年は、令和3年(2021年)7月～9月の3ヶ月間とする。
- ・ 個々の経営課題について
ヒト(人材確保、教育、労務管理等)、モノ(IT活用、設備機械、建物等)、
カネ(資金繰り、借入融資、補助金等)、その他、の大きく4つに分けて

第2章 調査集計結果

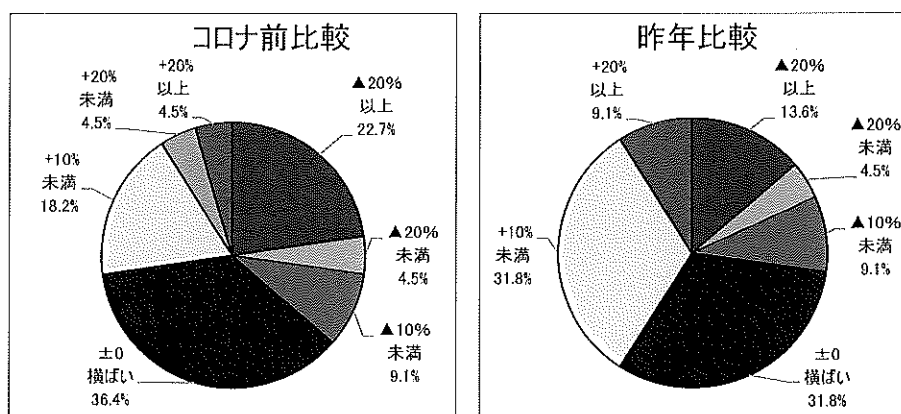
2.1 コロナ前及び昨年と比べた「売上(雑収入を除く)」について

① コロナ前の令和1年7月から9月を±0(ゼロ)とすると？

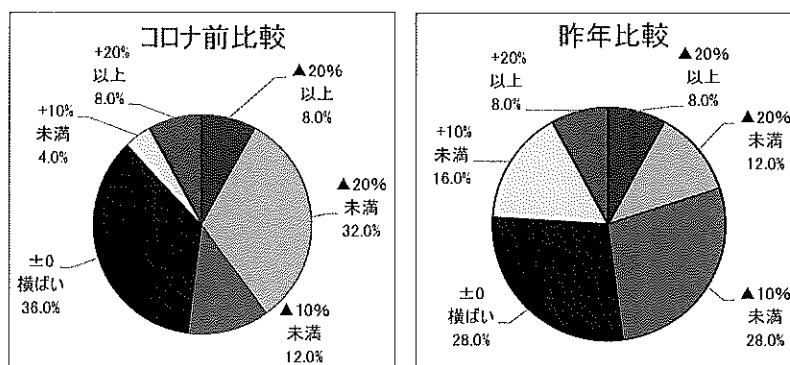
	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	+10%未満	+20%未満	+20%以上
令和4年7月～9月	5	1	2	8	4	1	1

② 昨年の令和3年7月から9月を±0(ゼロ)とすると？

	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	+10%未満	+20%未満	+20%以上
令和4年7月～9月	3	1	2	7	7	0	2



※参考: 第一四半期(4月～6月)調査



今回の地域経済動向(景況感)のアンケート調査では、まず、7月から9月の3ヶ月間(第二四半期)において、コロナ前(令和1年)及び昨年(令和3年)と比べて、今年(令和4年)の「売上(雑収入を除く)」が、どのように変化したかを問うた。

その結果、今年(令和4年)の第二四半期の売上が、コロナ前(令和1年)と比べて、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計8者(36.4%)、プラス(+10%未満～+20%以上)と回答した事業者が合計6者(27.3%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が8者(36.4%)となった。一方、昨年(令和3年)と比べると、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計6者(27.3%)、プラス(+10%未満～+20%以上)と回答した事業者が合計9者(40.9%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が7者(31.8%)となっている。これらから、今年の

第二四半期は、コロナ前比較より、昨年比較のほうが、マイナス回答が減少しており、プラス回答の大きな増加が見られることから、本業の売上が改善した傾向が伺える。また、前回に調査した第一四半期(4月～6月)よりも、第二四半期(7月～9月)のほうが、売上の改善度合いが強くなったことが伺える。

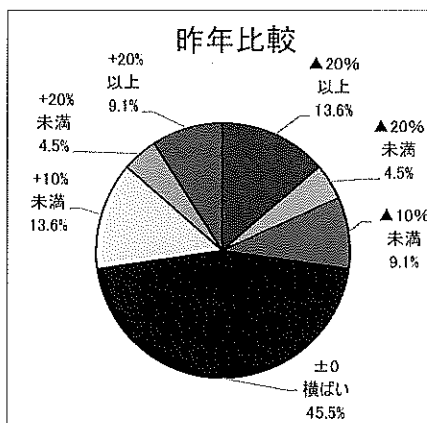
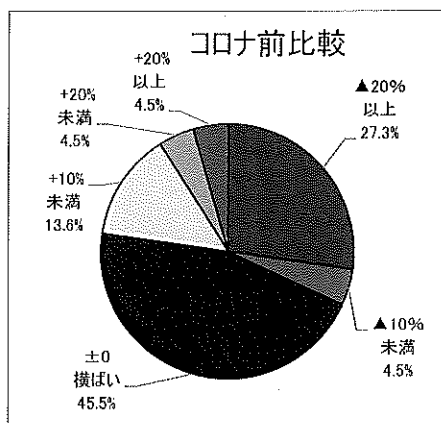
2.2 コロナ前及び昨年と比べた「営業利益(雑収入を除く)」について

① コロナ前の令和1年7月から9月を±0(ゼロ)とすると？

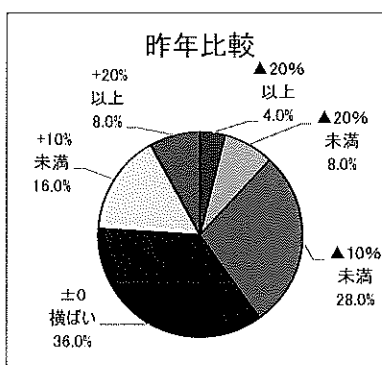
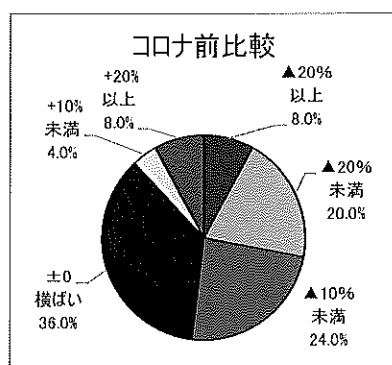
	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	+10%未満	+20%未満	+20%以上
令和4年7月～9月	6	0	1	10	3	1	1

② 昨年の令和3年7月から9月を±0(ゼロ)とすると？

	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	+10%未満	+20%未満	+20%以上
令和4年7月～9月	3	1	2	10	3	1	2



※参考:第一四半期(4月～6月)調査



次に、7月から9月の3ヶ月間(第二四半期)において、コロナ前(令和1年)及び昨年(令和3年)と比べて、今年(令和4年)の本業での利益を指す「営業利益(雑収入を除く)」が、どのように変化したかを問うた。

その結果、今年(令和4年)の第一四半期の営業利益が、コロナ前(令和1年)と比べて、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計7者(31.8%)、プラス(+10%未満～+20%以上)と回答した事業者が合計5者(22.7%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が10者(45.5%)となった。一方、昨年(令和3年)と比べると、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答

した事業者が合計6者(27.3%)、プラス(+10%未満～+20%以上)と回答した事業者が合計6者(27.3%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が10者(45.5%)となっている。これらから、今年の第二四半期は、コロナ前比較より、昨年比較のほうが、マイナス回答がやや減少し、プラス回答もやや増加しており、先の「売上」とは少し違い、営業利益(本業の儲け)の改善の度合いは微増傾向といえる。また、前回に調査した第一四半期(4月～6月)よりも、第二四半期(7月～9月)のほうが、営業利益の改善度合いは強くなったことが伺える。

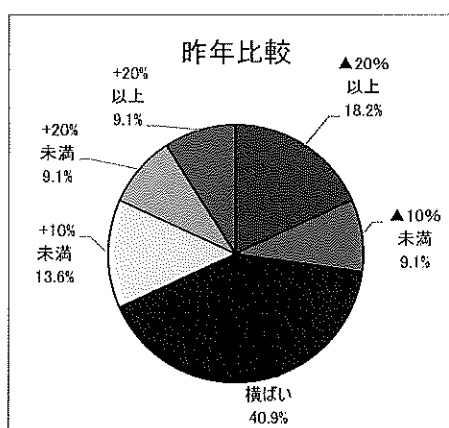
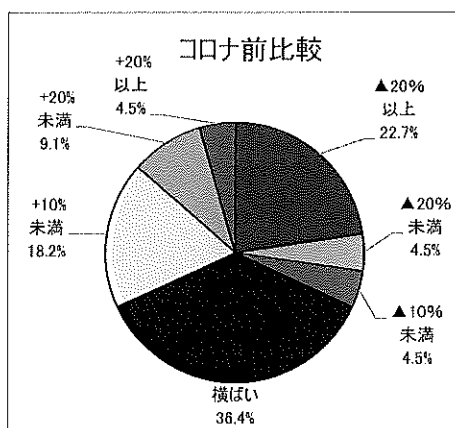
2.3 コロナ前及び昨年と比べた「経常利益(雑収入を含む)」について

① コロナ前の令和1年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

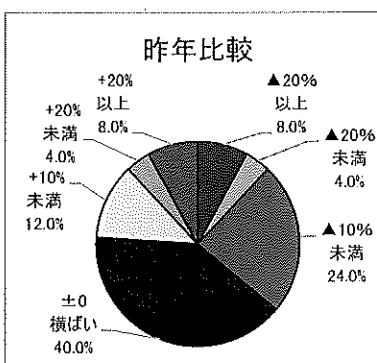
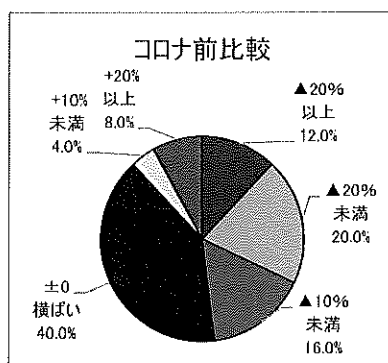
	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	+10%未満	+20%未満	+20%以上
令和4年7月～9月	5	1	1	8	4	2	1

② 昨年の令和3年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

	▲20%以上	▲20%未満	▲10%未満	±0 ほぼ横ばい	+10%未満	+20%未満	+20%以上
令和4年7月～9月	4	0	1	9	3	2	2



※参考: 第一四半期(4月～6月)調査



続いて、7月から9月の3ヶ月間(第二四半期)において、コロナ前(令和1年)及び昨年(令和3年)と比べて、今年(令和4年)の本業以外の収入である雑収入等を含めた利益を指す「経常利益(雑収入を含む)」が、どのように変化したかを問うた。

その結果、今年(令和4年)の第二四半期の経常利益が、コロナ前(令和1年)と比べて、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計7者(31.8%)、プラス(+10%未満～+

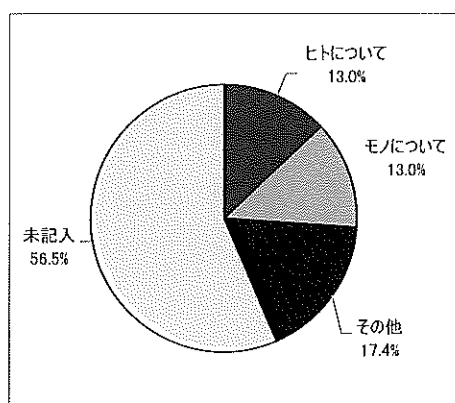
20%以上)と回答した事業者が合計7者(31.8%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が8者(36.4%)となった。一方、昨年(令和3年)と比べると、マイナス(▲10%未満～▲20%以上)と回答した事業者が合計5者(22.7%)、プラス(+10%未満～+20%以上)と回答した事業者が合計7者(31.8%)、ほぼ横ばい(±0%)と回答した事業者が9者(40.9%)となっている。これらから、今年の第二四半期は、先の「営業利益」の改善傾向と同じように、コロナ前比較より、昨年比較のほうが、マイナス回答がやや減少しているものの、プラス回答はあまり変化していない。またここでも、前回に調査した第一四半期(4月～6月)よりも、第二四半期(7月～9月)のほうが、経常利益の改善度合いは強くなったことが伺える。

2.4 個々の経営課題について

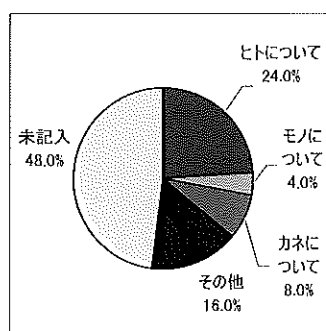
御社の最も優先される経営課題についてお聞かせください

	ヒトについて	モノについて	カネについて	その他	未記入
令和4年7月～9月	3	3	0	4	13

※複数回答あり



※参考: 第一四半期(4月～6月)調査



最後に、各事業者が個々に抱える現状の経営課題について、「ヒト・モノ・カネ」という経営資源を切り口に問うた。

その結果、未記入が半数以上を占めてしまう結果となったが、人材確保や教育、労務管理などの「ヒト」に関する回答が、前回の第一四半期(4月～6月)と同様に見られた。また、「モノ」については、設備等の老朽化などの回答も見られた。なお、本アンケート調査では、この質問に対して、「差し支えなければ、具体的にお聞かせください。」と自由記入欄を設けており、中には、さらに詳細な個々の事業者の課題の記載があったが、本報告書では、この自由回答から特定の事業者が推測される可能性があるため省略する。

第3章 調査結果のまとめ

3-1 調査結果のまとめ

今回(第二回)の四半期ごとの地域経済動向(景況感)のアンケート調査は、地域内の小規模事業者等が、長引く新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格や物価高騰等の外部環境の変化を受けて、経営状況(売上、営業利益、経常利益)がどのように変化したかの景況感の実態と、個々の事業者が抱える経営課題を把握するために実施し、商工会による個者支援に活かすことを目的としたものである。その結果、笠置町商工会全会員(76者)に対し、22者からの回答を得られたが、回収率は28.9%(第一四半期は32.9%)と低く、回収率のアップが引き続きの課題となった。

アンケート調査結果のまとめ

① 「売上」について

コロナ前比較より、昨年比較のほうが、マイナス回答の減少とプラス回答の増加が見られ、改善傾向が伺える。また、第一四半期(4月～6月)よりも、第二四半期(7月～9月)のほうが、改善度合いが強くなったことが伺える。

② 「営業利益」について

コロナ前比較より、昨年比較のほうが、マイナス回答のやや減少とプラス回答のやや増加が見られ、「売上」の改善傾向とは違い、改善度合いの微増傾向といえる。また、第一四半期(4月～6月)よりも、第二四半期(7月～9月)のほうが、改善度合いは強くなったことが伺える。

③ 「経常利益」について

コロナ前比較より、昨年比較のほうが、マイナス回答がやや減少しているものの、プラス回答はあまり変わらないが、ここでも、第一四半期(4月～6月)よりも、第二四半期(7月～9月)のほうが、改善度合いは強くなったことが伺える。

④ 「経常課題」について

多くの回答が得られなかったが、個々の事業者によって異なる様々な経営課題があることが、改めて認識できた。中でも、「ヒト」に関する回答が前回調査より引き続き見られたことや、「モノ」に関する具体的な回答も見られた。

以上の通り、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大という大きな外部環境の変化に加え、原油価格や物価高騰等の新たな外部環境の変化は、地域内事業者の経営にプラス面、マイナス面ともに影響した事業者とあまり影響を受けていない事業者に分かれているものの、コロナ前比較より、昨年比較のほうが、改善の兆しが見え始め、さらに、今年度の第一四半期(4月～6月)より、第二四半期(7月～9月)のほうが、改善度合いが強く表れている。一方で、個々の事業者が抱える経営課題は、「ヒト」に関することが第一四半期より続いており、個々に異なる様々な課題を抱えている。これら具体的な個々の課題については、商工会による継続した伴走支援によって、その一つ一つを解決へ導くことが求められる。

第4章 資料

4-1 アンケート調査票 (サイズ:A4)

会員各位

令和4年10月吉日

笠置町商工会
会長 松井 克夫
(公印省略)

令和4年度四半期ごとの景況感調査(第二回) アンケートのご協力をお願い

拝啓 盛夏の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、当会では、経営発達支援計画の一環として、地域の景況感、特に長引く新型コロナウイルス感染症拡大に加え、今般の原油価格や物価高騰等の外部環境の変化によって、笠置町内の事業者の経営(売上や利益等)にどういった影響を及ぼしているか等の実態を四半期ごとに把握するため、独自調査をさせていただき、今後の経営支援に役立てたいと存じます。事業者の皆様におかれましては、この大きな外部環境の変化によって、様々な経営環境に影響を及ぼしているものと思われます。つきましては、同封のアンケート用紙にご記入いただき、ご回答をFAX・ご持参またはWeb等にてお願いしたいと存じます。簡単なアンケート内容にしておりますが、誠に勝手ながら10月20日までの期限を設定させていただきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

※Web でのご回答は、こちらの QR コードから可能です。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe8u0Gk3NrS7wM-Q9lzBZtCjXpRwCGgvKhcdUdA5qqy5yqMKA/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>



[ご質問やお問合せ窓口]

笠置町商工会
石徳、東

TEL:0743-95-2159

FAX:0743-95-2960

E-mail: kasagi-sci@kyoto-fsci.or.jp

笠置町商工会 令和4年度四半期ごとの景況感調査(第二回)アンケート用紙
(締切: 10月20日まで / 送信先 FAX: 0743-95-2960)

次の質問について、それぞれ○印でご回答ください。

1. 令和4年7月から9月の3ヶ月の「売上(雑収入を除く)」について

※「売上」は、支援金や給付金などの雑収入を除く、本業での売上と捉えてください。

①コロナ前の令和1年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

令和4年 7月～9月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	+10% 未満	+20% 未満	+20% 以上
---------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------

②昨年の令和3年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

令和4年 7月～9月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	+10% 未満	+20% 未満	+20% 以上
---------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------

2. 令和4年7月から9月の3ヶ月の「営業利益」(雑収入を除く)について

※「営業利益」とは、雑収入を除く本業での売上から費用を差し引いたものと捉えてください。

①コロナ前の令和1年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

令和4年 7月～9月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	+10% 未満	+20% 未満	+20% 以上
---------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------

②昨年の令和3年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

令和4年 7月～9月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	+10% 未満	+20% 未満	+20% 以上
---------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------

3. 令和4年7月から9月の3ヶ月の「経常利益」(雑収入を含む)について

※「経常利益」とは、売上に雑収入も含めた収入から費用を差し引いたものと捉えてください。

①コロナ前の令和1年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

令和4年 7月～9月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	+10% 未満	+20% 未満	+20% 以上
---------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------

②昨年の令和3年7月から9月を±0(ゼロ)とすると?

令和4年 7月～9月	▲20% 以上	▲20% 未満	▲10% 未満	±0 ほぼ横ばい	+10% 未満	+20% 未満	+20% 以上
---------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	------------

4. 御社の最も優先される経営課題についてお聞かせください。

ヒトについて (人材確保、教育、労務管理等)	モノについて (IT活用、設備機械、建物等)	カネについて (資金繰り、借入融資、補助金等)	その他
---------------------------	---------------------------	----------------------------	-----

差し支えなければ、具体的にお聞かせください。ご要望等も受け付けます。

※どんなことでも結構です。ご記入内容は情報は秘密厳守をお約束いたします。

事業者名	
------	--